

「第二次町田市環境マスタープラン」 2015 年度進捗報告書

本報告では、「第二次町田市環境マスタープラン」で掲示した 5 つの基本目標ごとに、2015 年度までの環境施策の進捗状況をまとめました。5 つの基本目標に対する達成目標、「第二次町田市マスタープラン」の推進計画である「アクションプラン」内で掲示した、市が重点的に取り組む事業である重点事業、および市が行う具体的な取り組みであるその他施策の 3 点について報告します。

なお、達成目標の目標年度は、2021 年度、「アクションプラン」の重点事業およびその他の施策の目標年度は 2016 年度です。

1 地域で取り組む地球温暖化の防止

<達成目標の進捗状況>

2021年度までの達成目標	達成状況					
	基準年	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2021年度
①市民一人あたりの二酸化炭素排出量（2010年度、3.8 t-CO2/人）の10%削減を目指します。	3.8 t-CO2/人	3.93 t-CO2/人	3.67 t-CO2/人	4.03 t-CO2/人	—	3.42 t-CO2/人
「地球温暖化対策の推進に関する法律：温対法」に基づいた計算方法で算出した値	3.52 t-CO2/人	3.76 t-CO2/人	3.55 t-CO2/人	3.88 t-CO2/人	—	
②再生可能エネルギーの市内エネルギー消費量に対する割合0.3%（2010年度、0.05%）を目指します。	0.05%	0.09%	0.11%	0.14%	—	0.30%
③マイカーの使用はできるだけ控え、徒歩または自転車、電車、バスを利用する市民の割合（2011年度、37.1%）の10ポイント増の47.1%を目指します。	37.1%	36.2%	35.8%	33.7%	33.6%	47.1%

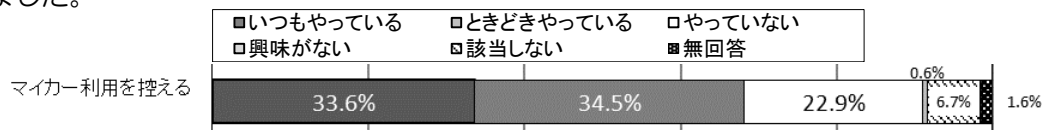
- ① 市民一人あたりの二酸化炭素排出量は、2014年度は 4.03 t-CO2/人でした。エネルギー使用量は減少したものの、電気の二酸化炭素排出係数が上昇したため、基準年に比べ増加しました。
- ② 再生可能エネルギーの割合は、2014年度は 0.14%でした。目標達成までは 0.16 ポイントの増加が必要です。
- ③ マイカーの使用は、2015年度、33.6%の市民が、いつも使用をできるだけ控えていると回答していますが、年々割合は減少しています。

☆アンケート結果☆ 達成目標 1-③ マイカーの使用について

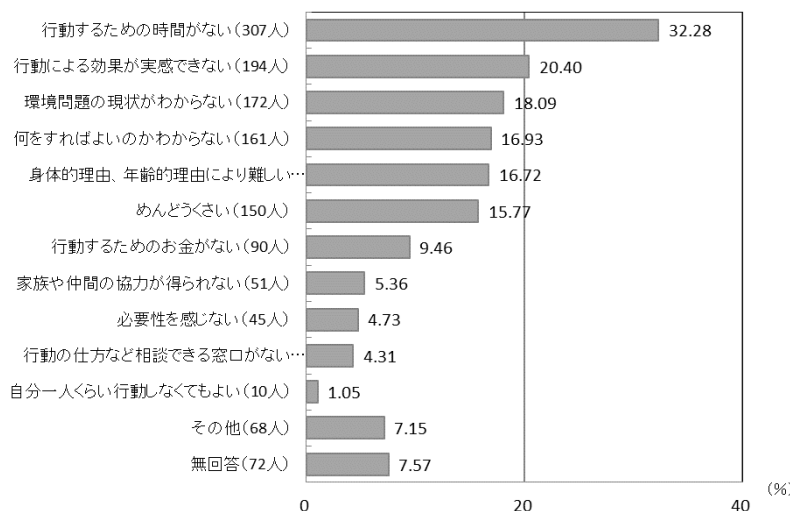
参考資料 1_P15

Q. あなたのご家庭ではどのような環境に配慮した行動を行っていますか。

※環境配慮行動 20 項目について、実施状況を聞いた結果、マイカー使用については下記の結果となりました。



Q. 環境に配慮した行動を行う上で、「難しい点」「取組みが行えない・行わない」理由は何ですか（2つまで）。



環境配慮行動を行う上で、「難しい点」「取組みが行えない・行わない」理由は「時間がない」（32.3%）、「効果が実感できない」（20.4%）、「現状がわからない」（18.1%）という回答が多くありました。

<施策の取り組み状況>

●重点事業について

- 重点事業の進捗概況：2016年度の目標（値）に対する進捗度別の施策数です。

施策 総数	目標（値）に対する進捗度				
	達成	70-90%	40-60%	20-30%	0-10%
5	2	2	0	0	1

達成見込みの表記

—達成済み ○達成予定 △達成困難

●重点事業の進捗状況

番号	重点事業名	目標	基準年度値 (2010年度)	目標(値)	現状値 (2015年度末)	目標(値) に対する 進捗度	達成 見込み
1	地球温暖化対策取り組み促進の仕組みづくり	地球温暖化対策取り組み促進の仕組みの構築	-	仕組みの構築及び運用 (2014年度)	「わたしのエコ宣言」の開始	達成	-
2	家庭における再生可能エネルギー利用の促進	太陽光発電システム累計設置補助件数の増加 ①戸建住宅 ②共同住宅	① 959件 ② -	① 2,800件 (2016年度) ② 50件 (2016年度)	①2,688件 ②35件	①90% ②70%	○
3	事業者への再生可能エネルギー導入支援	再生可能エネルギー導入についての市内事業者向け支援策の構築	-	支援策の構築及び運用 (2015年度)	・共同住宅オーナーへの補助9件実施 ・支援策の方向性決定 ・環境改善整備資金問い合わせ2件 ・街路灯LED化に関する補助金交付2商店会	80%	○
4	エコドライブの周知、普及・啓発の実施	エコドライブ実践者の割合の増加	24.8% ※2012年度	エコドライブ実践者の割合2012年度比10ポイント増 (2016年度)	43.4%	達成	-
5	町田市ふるさとの森の保全	制度上安定した緑地面積の増加	860 ha	880 ha (2016年度)	833.64ha	0%	△

進捗度が達成以外の事業について、取り組み状況を以下に説明します。

- (重点事業 2) ①戸建住宅は順調に申請が伸びています。②共同住宅の申請が少ないため、目標達成に向けホームページや広報での周知の他、窓口で関連チラシの配布を行っています。
- (重点事業 3) 共同住宅オーナーへの補助や、融資補助は記載のとおりです。国や都の事業を紹介していくという支援策の方向性を決定しました。
- (重点事業 5) 生産緑地の減少の影響を受け、年々減少しています。後期では市の取り組みが反映される特別緑地保全地区の面積に切り替え、主体的な取り組みを行っています。

●その他の施策について

- その他の施策の進捗概況：2015年度の目標に対する進捗状況別の施策数です。

課ごとの 取り組み総数	進捗状況（取り組み数）				
	◎	○	△	×	事業完了
24	3	19	2	0	0

進捗状況の表記

◎：予定以上に進んでいる ○：予定どおりに進んでいる

△：あまり予定どおりに進んでいない ×：まったく予定どおりに進んでいない

2 自然環境と歴史的文化的環境の保全

<達成目標の進捗状況>

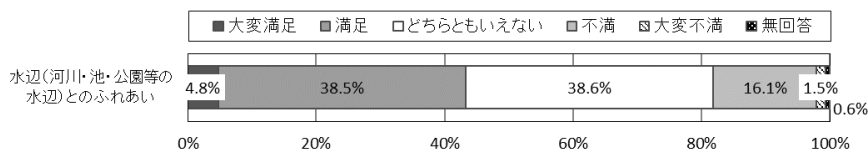
2021年度までの達成目標	達成状況					
	基準年	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2021年度
①市域面積に占める安定的に確保された緑地の割合（2010年度、28.9%）を、2020年度までに概ね30%確保することを目指します。	28.9%	28.8%	28.7%	28.8%	28.6%	30%
②町田市内での水辺（河川・池・公園等の水辺）とのふれあいについて満足している市民の割合（2011年度、39.8%）の10ポイント増の49.8%を目指します。	39.8%	38.5%	42.8%	43.3%	43.3%	49.8%
③市内エコファーマー認定農業者数（2010年度、74人）の5%増（4人以上）を目指します。	74人	41人	41人	30人	28人	78人
東京都エコ農産物認証制度 認証生産者数の増加（2018年度、50人）を目指します。			8人	14人	18人	

- ① 安定的に確保された緑地の割合は、生産緑地や風致地区の減少を受け、2015年度は28.6%と基準年より0.3ポイント減少しました。
- ② 水辺とのふれあいに満足していると回答している市民は43.3%でした。
- ③ 市内エコファーマー認定農業者数は28人です。エコファーマー制度の変更に伴い、都では2013年度から東京都エコ農産物認証制度を開始し、市内でも、18人が認証生産者となっています。

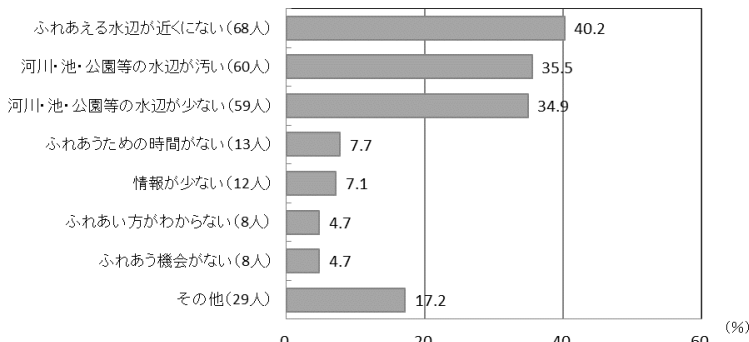
☆アンケート結果☆ 達成目標2-② 水辺とのふれあいについて

参考資料1_P6

Q. 水辺（河川・池・公園等）とのふれあいについて、どのように感じていますか。



Q. 「不満である」「大変不満である」を選んだ理由は何ですか（2つまで）。



「不満」「大変不満」の理由として、「ふれあえる水辺が近くにない」（40.2%）が最も多く、次いで「河川・池・公園等の水辺が汚い」（35.5%）という回答が多くありました。

<施策の取り組み状況>

●重点事業について

・重点事業の進捗概況：2016年度の目標（値）に対する進捗度別の施策数です。

施策 総数	目標（値）に対する進捗度				
	達成	70-90%	40-60%	20-30%	0-10%
8	2	3	1.5	1.5	0

※重点事業6は2つの目標値に対し、進捗が異なるため、0.5ずつで表記しています。

・重点事業の進捗状況

達成見込みの表記
 - 達成済み ○ 達成予定 △ 達成困難

番号	重点事業名	目標	基準年度値 (2010年度)	目標(値)	現状値 (2015年度末)	目標(値) に対する 進捗度	達成 見込み
6	みどりの拠点整備	① 今後5年間の都市計画公園・ 緑地整備施設数 ② 今後5年間の都市計画公園・ 緑地用地取得面積	① - ② -	① 3施設(2016年度) ② 13.6ha(2016年度)	① 1施設 ② 5.79ha	① 30% ② 40%	△
7	街区公園の整備	今後5年間の街区公園整備箇所 数	-	5箇所(2016年度)	3箇所	60%	△
8	歩道の透水性舗装の整備	透水性舗装面積の増加	17,383㎡	26,857㎡(2016年度)	25,958㎡	90%	○
9	水辺の魅力の発信	水辺とのふれあいについて満足 している市民の割合の増加	39.8%	44.8%(2016年度)	43.3%	80%	○
10	生物多様性保全のための仕組み づくり	生物多様性保全のための仕組み の構築	-	仕組みの構築及び運用 (2014年度)	「町田生きもの共生プラ ン」運用開始	達成	-
11	北部丘陵の整備	北部丘陵地域内整備事業用地の 活用面積の増加	27.8ha	43.9ha(2016年度)	39.6ha	70%	△
12	遊休農地のあっせん	農地あっせん件数	0件 ※2011年度	30件(2016年度)	81件	達成	-
13	フットパスの振興	道標整備が完了したフットパス ルート数の増加	1/22ルート	7ルート(2016年度)	2ルート	30%	△

進捗度が達成以外の事業について、取り組み状況を以下に説明します。

- (重点事業 6) 用地取得の補助金の交付状況の影響を受け、目標値の達成は困難な状況です。後期は重点整備箇所を記載し、確実な進捗を図っていきます。
- (重点事業 7) 都市計画公園の整備に注力しているため、街区公園整備の目標達成は困難な状況です。2016年度以降は市の施策としての取り組みは一度凍結を予定しています。
- (重点事業 8) 入札不調により、工事の進捗に遅れがあるものの、早期発注等の対応を行い、2016年度には達成の見込みです。
- (重点事業 9) 2015年度に実施した薬師池の生きもの調査がメディアに取り上げられ、多くの市民の訪問がありました。後期に向け、水と生物を関連させた事業や情報発信を行っていく予定です。
- (重点事業 11) 農地利用集積円滑化事業により、市有地の有効活用を実施していますが、その他の事業における活用の進捗が遅れており、達成は困難な状況です。後期は山林の活用に重点を移し、活用を図っていきます。
- (重点事業 13) フットパスの道標整備は資金面から達成が困難な状況です。後期も継続して整備を行うと共に、観光交流拠点を活用した自然や歴史・文化に関するイベントを実施していきます。

●その他の施策について

・その他の施策の進捗概況：2015年度の目標に対する進捗状況別の施策数です。

課ごとの 取り組み総数	進捗状況(取り組み数)				
	◎	○	△	×	事業完了
34	1	30	0	1	2

進捗状況の表記

◎：予定以上に進んでいる ○：予定どおりに進んでいる

△：あまり予定どおりに進んでいない ×：まったく予定どおりに進んでいない

3 持続可能な循環型社会の構築

<達成目標の進捗状況>

2021年度までの達成目標	達成状況					
	基準年	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2021年度
①ごみとして処理する量（2009年度、9万9千t）を40%削減し、2020年度に6万tにします	99,152 t	100,198 t	99,438 t	98,671 t	97,553 t	60,000 t
②一人一日あたりのごみとして処理する量（2010年度、842g/人・日）を、2020年度までに782g/人・日に削減することを目指します。	842.0 g	831.4 g	831.0 g	819.3g	808.5g	782.0 g
③資源化率（2010年度、26.7%）を、2020年度までに54%まで高めることを目指します。	26.7%	25.2%	25.9%	25.4%	25.7%	54.0%

※①のごみとして処理する量は、全ごみ量から資源として集めた量を除いたもの。②のごみとして処理する量は、全ごみ量。

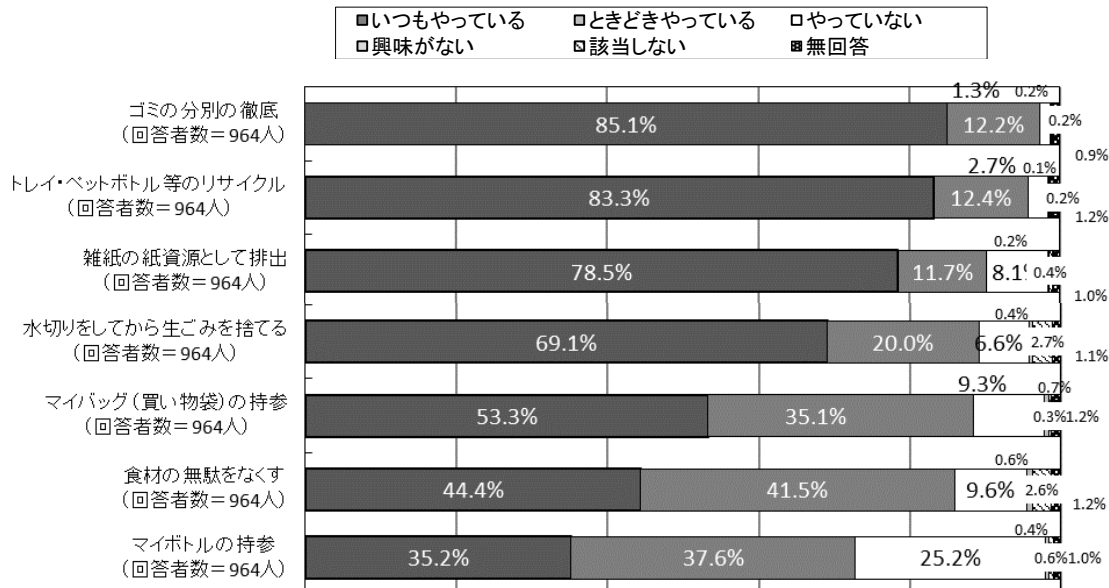
- ① ごみとして処理する量は2014年度比で1,118 t減少しましたが、目標達成には約37,500 tの削減が必要です。
- ② 一人あたりのごみ量は基準年と比較すると、33.5 g、2014年度比では10.8 g減少しています。
- ③ 資源化率は目標達成までに28.3ポイントの増加が必要です。

☆アンケート結果☆ ごみの減量・資源化について

参考資料1_P15

Q. あなたのご家庭ではどのような環境に配慮した行動を行っていますか。

※環境配慮行動20項目について、実施状況を聞いた結果、ごみの減量・資源化については、下記の結果となりました。



「食材の無駄をなくす」、「マイボトルの持参」を除く5項目で、半数以上の市民が、「いつもやっている」と回答しました。

<施策の取り組み状況>

●重点事業について

- ・重点事業の進捗概況：2016年度の目標（値）に対する進捗度別の施策数です。

施策 総数	目標（値）に対する進捗度				
	達成	70-90%	40-60%	20-30%	0-10%
5	4	1	0	0	0

- ・重点事業の進捗状況

達成見込みの表記
 - 達成済み ○ 達成予定 △ 達成困難

番号	重点事業名	目標	基準年度値 (2010年度)	目標(値)	現状値 (2015年度末)	目標(値) に対する 進捗度	達成 見込み
14	ごみ減量に関する出前講座の 充実	出前講座実施回数の増加	36回/年	50回/年(2016年度)	112回/年	達成	-
15	マイボトル・マイバックなど の利用促進	キャンペーンの実施回数の増加	1回/年	5回/年(2016年度)	8回/年	達成	-
16	市内事業所のごみ減量の推進	市内事業所への訪問件数の増加	55件/年	100件/年(2016年度)	195件	達成	-
17	生ごみ処理機の導入促進	生ごみ自家処理世帯数の増加	8,676世帯	10,000世帯(2016年度)	10,014世帯	達成	-
18	資源循環型施設の整備	資源循環型施設の整備	「施設整備基本 計画」を策定中	施工業者決定(2016年度)	事業実施方針の公表	80%	○

進捗度が達成以外の事業について、取り組み状況を以下に説明します。

- (重点事業 18) 熱回収施設等における整備・運営事業者の選定は、公設民営（DBO方式）で実施します。2016年度9月に落札者を決定し、12月に議会の承認を経て契約の予定です。施設整備の周辺地区では、地区連絡会を開催し、地元住民との調整を行っています。

●その他の施策について

- ・その他の施策の進捗概況：2015年度の目標に対する進捗状況別の施策数です。

課ごとの 取り組み総数	進捗状況（取り組み数）				
	◎	○	△	×	事業完了
19	2	15	2	0	0

進捗状況の表記

◎：予定以上に進んでいる ○：予定どおりに進んでいる

△：あまり予定どおりに進んでいない ×：まったく予定どおりに進んでいない

4 良好な生活環境の創造

<達成目標の進捗状況>

2021年度までの達成目標		達成状況					
		基準年	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2021年度
①大気に関するすべての項目での環境基準の達成を目指します。	SO ₂	100%	100%	100%	100%	—	100%
	NO ₂	100%	100%	100%	100%	—	100%
	SPM	100%	100%	100%	100%	—	100%
	Ox	0%	0%	0%	0%	—	100%
②鶴見川、境川、恩田川の水質に関するすべての項目での環境基準の達成を目指します。	BOD	境川	100%	100%	100%	100%	100%
		鶴見川	100%	100%	97%	94%	100%
		恩田川	100%	100%	100%	100%	100%
	SS	100%	100%	100%	100%	100%	100%
	DO	100%	100%	100%	100%	100%	100%
	pH	境川	100%	90%	90%	95%	85%
		鶴見川	100%	94%	94%	97%	84%
恩田川		83%	67%	75%	67%	50%	
③居住地の周辺環境について満足している市民の割合（2011年度、62.7%）の5ポイント増の67.7%を目指します。		62.7%	61.1%	56.8%	66.3%	66.5%	67.7%

① 大気に関する環境基準は、Ox 以外の項目で目標を達成しています。Ox が原因で発令される光化学スモッグ注意報は、2010 年度から、9 回、3 回、2 回、9 回、4 回と変動しており、2015 年度は 4 回発令されました。

② 水質に関する環境基準では 2015 年度、BOD・SS・DO の項目で目標を達成しています。pH は、下記の回数、基準値の超過が確認されました。

境川：6/40、鶴見川：5/32、恩田川：6/12 【環境基準超過回数/（水質測定地点数×測定回数）】

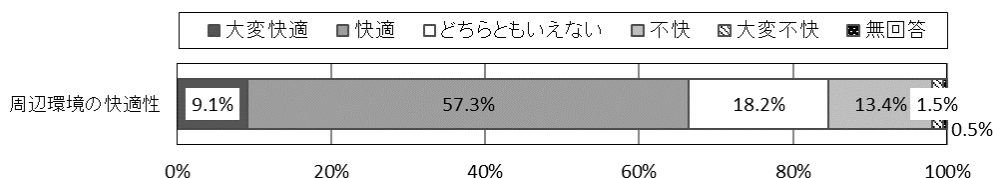
③ 居住地の周辺環境については、66.5%の市民が満足と回答しています。

☆アンケート結果☆ 達成目標 4-③ 居住地の周辺環境について

参考資料 1_P3

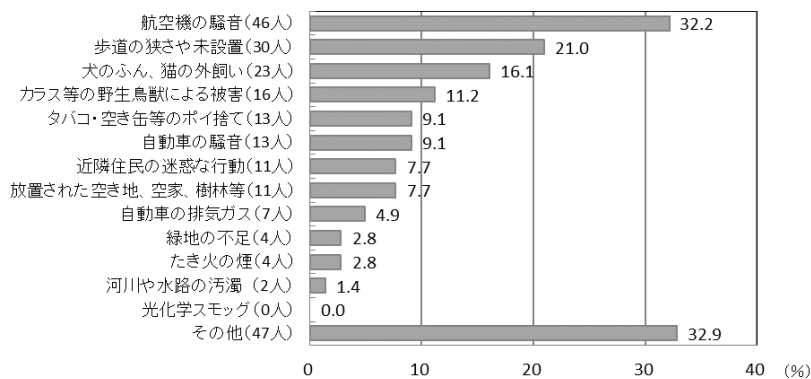
Q. あなたがお住まいになっている周辺の環境は、あなたにとって快適ですか。

※達成状況の中では、「大変快適」「快適」の回答を「満足」と読み替えて集計しています。



Q. 「不快である」「大変不快である」を選んだ理由は何ですか（2 つまで）。

「不快」「大変不快」の理由として、最も多いのが「航空機の騒音」（32.2%）でした。その他理由としては、「歩道の狭さや未設置」（21.0%）が比較的多く見られました。



<施策の取り組み状況>

●重点事業について

- 重点事業の進捗概況：2016年度の目標（値）に対する進捗度別の施策数です。

施策 総数	目標（値）に対する進捗度				
	達成	70-90%	40-60%	20-30%	0-10%
6	4.5	0	0.5	1	0

※重点事業 24 は 2 つの目標値に対し、進捗が異なるため、0.5 ずつで表記しています。

・重点事業の進捗状況

達成見込みの表記
 - 達成済み ○ 達成予定 △ 達成困難

番号	重点事業名	目標	基準年度値 (2010年度)	目標(値)	現状値 (2015年度末)	目標(値) に対する 進捗度	達成 見込み
19	路線バス利用環境整備	① バス路線網の再編 ② 乗り継ぎシステムの整備	① - ② -	① 着手 (2016 年度) ② 着手 (2016 年度)	①着手 (3車線化の協議等) ②着手 (基礎調査実施)	①達成 ②達成	-
20	自転車利用環境の整備	① 自転車レーン設置 ② 自転車等駐車場の収容台数の増加	① - ② 18,578 台	① 2 km (2014 年度) ② 19,500 台 (2016 年度)	2km 20,400台	達成 達成	-
21	下水道未整備箇所の污水管整備の推進	下水道人口普及率の増加	95.7%	98.1 % (2016 年度)	98.5%	達成	-
22	下水処理水の水質向上	高度処理化率の増加 (準高度処理を含む)	9.8%	19.4 % (2016 年度)	9.8%	20%	△
23	有害化学物質の適正管理・処理の指導	工場や指定作業場及び水質汚濁防止法特定施設への立入り指導件数の増加	3 件/年	全対象施設への実施 (2016 年度)	全対象施設への実施を完了 (累計件数87件/全66件)	達成	-
24	景観ガイドラインの策定	① 「公共事業景観形成指針」の策定 ② 「(仮称)屋外広告物ガイドライン」の策定	① - ② -	①「公共事業景観形成指針」の策定 (2012 年度) ②「(仮称)屋外広告物ガイドライン」の策定 (2014 年度)	①策定済 (2012 年度) ②策定準備中	①達成 ②40%	① - ②△

進捗度が達成以外の事業について、取り組み状況を以下に説明します。

(重点事業 22) 高度処理化を進めるための施設工事の工期が、自然環境調査の影響で延長され、前期期間内の目標達成は困難な状況です。工事は 2017 年度末に竣工予定です。

(重点事業 24) ② 「(仮称)屋外広告物ガイドライン」の策定に向け、課題を整理し、方向性を検討しています。期間内の策定は困難な状況ですが、2017 年度に策定の予定です。

●その他の施策について

- その他の施策の進捗概況：2015年度の目標に対する進捗状況別の施策数です。

課ごとの 取り組み総数	進捗状況 (取り組み数)				
	◎	○	△	×	事業完了
38	2	33	3	0	0

進捗状況の表記

◎：予定以上に進んでいる ○：予定どおりに進んでいる

△：あまり予定どおりに進んでいない ×：まったく予定どおりに進んでいない

5 環境に配慮した生活スタイルの定着

<達成目標の進捗状況>

2021年度までの達成目標	達成状況					
	基準年	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2021年度
①環境に配慮した行動を行っている市民の割合（2011年度、40.7%）の10ポイント増の50.7%を目指します。	40.7%	37.9%	38.3%	39.8%	39.7%	50.7%
②市内の小中学校での環境教育や環境配慮行動の100%実施を目指します。	100%	100%	100%	100%	100%	100%
③環境学習や環境に関するイベント等に積極的（いつも・ときどき）に参加する市民の割合（2011年度、10.6%）の7ポイント増の17.6%を目指します。	10.6%	10.1%	10.8%	12.2%	14.4%	17.6%

- ① 環境に配慮した行動を行っている市民の割合は、2015年度は39.7%で、目標達成まで11.0ポイントの増加が必要です。
- ② 市内の小中学校では、環境教育や環境配慮行動が100%実施されています。
- ③ 環境学習や環境に関するイベント等に参加する市民は14.4%で、基準年よりも3.8ポイント増加しました。

☆アンケート結果☆ 達成目標5

参考資料1_P15、9

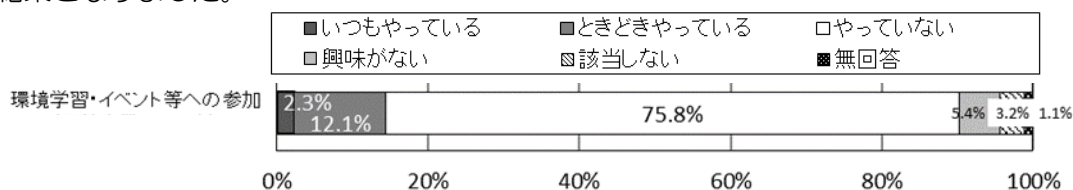
①環境に配慮した行動について

Q. あなたのご家庭ではどのような環境に配慮した行動を行っていますか。

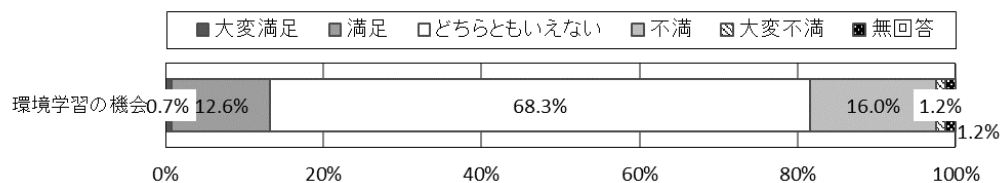
※達成状況の数値は、20項目の環境配慮行動の内、継続的に調査を実施している17項目における、「いつもやっている」の平均値です。この項目の内、「いつもやっている」と「ときどきやっている」を合計した割合の高い項目は、「ごみの分別の徹底」（97.3%）が最も高く、「トレイ・ペットボトル等のリサイクル」（95.7%）が続きました。

③環境学習・イベントについて

※上記設問の環境配慮行動の実施状況のうち、環境学習・イベント等への参加については下記の結果となりました。

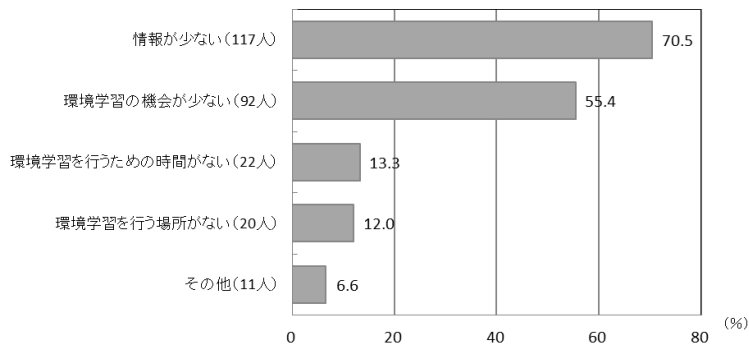


Q. 環境学習の機会について、どのように感じていますか。



「大変満足」「満足」と答えた市民は13.3%でした。一方、「不満」「大変不満」と回答した市民は、17.2%でした。

Q. 「不満である」「大変不満である」を選んだ理由は何ですか。



「不満」「大変不満」の理由として、「情報が少ない」が70.5%で最も多く、「環境学習の機会が少ない」(55.4%)が続きました。

<施策の取り組み状況>

●重点事業について

・重点事業の進捗概況：2016年度の目標（値）に対する進捗度別の施策数です。

施策 総数	目標（値）に対する進捗度				
	達成	70-90%	40-60%	20-30%	0-10%
4	4	0	0	0	0

・重点事業の進捗状況

達成見込みの表記
 - 達成済み ○ 達成予定 △ 達成困難

番号	重点事業名	目標	基準年度値 (2010年度)	目標(値)	現状値 (2015年度末)	目標(値) に対する 進捗度	達成 見込み
25	子どもへの環境学習の推進	子ども向け環境講座のプログラムの策定・実施	-	環境講座のプログラム策定・実施 (2015年度)	新たなメニューの企画・実施	達成	-
26	市民協働による環境マップの作成	環境マップの作成・配布	-	作成・配布(2014年度～毎年)	作成・公開	達成	-
27	まちだエコ宣言制度の推進	まちだエコ宣言制度への参加事業者数	-	50店・事業所(2016年度)	68店・事業所	達成	-
28	環境情報・活動についてのホームページの立ち上げ	ホームページの作成・運用	-	ホームページの作成・運用 (2014年度)	新しいインデックスページの運用・改善	達成	-

すべての施策で、目標値を達成しています。

●その他の施策について

・その他の施策の進捗概況：2015年度の目標に対する進捗状況別の施策数です。

課ごとの 取り組み総数	進捗状況（取り組み数）				
	◎	○	△	×	事業完了
19	3	14	2	0	0

進捗状況の表記

◎：予定以上に進んでいる ○：予定どおりに進んでいる

△：あまり予定どおりに進んでいない ×：まったく予定どおりに進んでいない